

## 「主イエスの母、兄弟とは」

2015年06月26日

ルカによる福音書 8章19節～21節。さて、イエスのところに母と兄弟たちが来たが、群衆のために近づくことができなかった。そこでイエスに、「母上と御兄弟たちが、お会いしたいと外に立っておられます」との知らせがあった。するとイエスは、「わたしの母、わたしの兄弟とは、神の言葉を聞いて行方人たちのことである」とお答えになった。

主イエスの神の国の宣教は民衆に圧倒的な支持を得た。政治的、経済的、衛生的、宗教的な差別と抑圧を受けていた民衆の生存を神の名によって「生きよ」と是認する福音は大きな歓喜をもって受け入れられたからである。主イエスは民衆に囲まれ「枕する所もない」ほど多忙を極め、命を削る日々であった。そして福音は、律法によって差別管理された体制を打ち壊し、人間の尊厳を守ることであった。権力者は自分たちで営々と築きあげてきた体制を主イエスの宣教活動は破壊する危険なものを見なし、命をも狙うようになった。

主イエスの母、兄弟たちは、主イエスの置かれた状況を伝え聞いた。家族は、宣教活動を止めさせ、故郷ナザレで平穏な生活をさせようと考えたことは当然と言えよう。主イエスを訪ねて来てみると、噂通り、黒山のように民衆が主イエスを取り囲んでいた。とても、近づくことができない。そこで、人を介して、家族が来ていることを伝えた。

「母上と御兄弟たちが、お会いしたいと外に立っておられます」との伝言を聞いた主イエスは、並行記事のマルコ福音書では、最初に「わたしの母、わたしの兄弟とはだれか」と応じたと書いている。母、兄弟との関係を冷たく断ち切った言葉のように聞こえる。モーセの十戒の第五戒は「あなたの父母を敬え」である。この戒めがイスラエルの宗教、文化を継承する最も大切なものであった。主イエスはこの戒めに無頓着であるかのような返答をされた。家族としては、命を削る危険な宣教活動を止めさせたいと思ったのであるが、ケンモホロ口に拒絶されたのであった。しかし主イエスは、飢え渇く民衆を愛し、その生存を肯定し、生きることに向かって立ち上がらせる「神の国」の実現に使命を持ち、全力を注いでおられた。この使命は家族の平穏を願う思いを超えるものだと宣言したのであろう。そして「わたしの母、わたしの兄弟とは、神の言葉を聞いて行方人たちのことである」と言われた。これを聞いた民衆は主イエスの家族とされていることをどんなに喜んだであろうか。血による繋がりではなく、信仰の絆による家族を第一とされた。

マタイ福音書 10章37節～39節に「わたしよりも父や母を愛する者は、わたしにふさわしくない。わたしよりも息子や娘を愛する者も、わたしにふさわしくない。また、自分の十字架を担ってわたしに従わない者は、わたしにふさわしくない。自分の命を得ようとする者は、それを失い、わたしのために命を失う者は、かえってそれを得るのである」と書かれている。初代教会において、偏見と迫害を受けながら、主イエスの愛に倣おうと、家族との絆を断ち切って、教会の交わりに加わった人々が大勢いた。彼らはイエスを主キリストと信じる教会の群れを神の家族として、お互いに「兄弟、姉妹」と呼び合って、信仰を共にしたのである。

主イエスは母との関係を断ち切った訳ではない。苦しい十字架の上から、悲しむ母マリアに対し「婦人よ、御覧なさい。あなたの子です」と語り、弟子（ヨハネ）に対し「見なさい。あなたの母です」と言って、ヨハネに母を託している。主イエスと母とは切れていない。深いところで愛に結ばれていたのである。